

660病院 750万症例とベンチマークしての分析、解決方法を習得

# DPCデータを用いた実践分析セミナー

## 診療科別・疾病別 更に症例別に出来 高とDPCの比較。 増収か？減収か？

- 当セミナーでは、DPC分析ベンチマークソフト『EVE』を使用して分析の仕方を習得。
- モデル病院のDPC情報を使って、収益因子、臨床指標、ベンチマーク情報、クリニカルパスの見方、解決策策定の道筋を習得。
- 減収・増収になる診療科は？ 疾病は？ 症例は？
- 減収の原因は  
注射？投薬？検査？画像？処置？それとも？
- 後発薬への移行は、どうしたら良いか？

- EVEでは、収益因子（投薬、注射、処置、検査、画像）や症例別入院日数などを簡単に他院とベンチマーク。
- パスの整備は、医療の質の保証、チーム医療の推進、業務の効率化、入院日数短縮、患者負担の軽減など等と共に、病院経営面でコスト削減にも貢献します。

## 臨床指標に基づいた (基本、手術、薬剤) 実践的分析が出来る

- 臨床指標に基づいた実践的分析力を養成。
- EVEの充実した臨床指標。  
・メリーランド病院協会 ・JCAHO ・Medicare  
・日本呼吸器学会 ・CDCガイドライン・WHO基準  
・厚生労働省ガイドライン ・脳卒中ガイドライン 他
- クリニカルパスの整備に役立つ臨床指標の使い方は？

### セミナー内容

- ①DPC分析ソフトの操作法：検索、統計画面（診療科別・主治医別）の使い方（初めてでも簡単）
- ②モデル病院を使って、DPCシミュレーション、課題抽出、対応策抽出  
【テーマ分析】：術前・術後日数比較、収益因子での医療資源の使い方、収益因子の病院比較等  
【テーマ例】：鼠径ヘルニア、虫垂炎、脳梗塞、白内障などから選択
- ③Dファイル比較(自動コーディングとDファイルの相違)、手術チェック、代替DPC、症例検索、外れ値の扱い
- ④薬剤集計の使い方                      ⑤臨床指標に基づいた対応策                      ⑥統計資料の作り方

●受講時に開示された参考とする模範的病院の患者データや分析資料は、持ち帰る事が可能ですが、セミナー主催者の許諾無くパソコンやメモリーにダウンロードを禁止することに同意いただけることが受講の条件となります。

- 受講者による分析資料は、許可を得て持ち帰れます。
- どのようにしてDPC分析をするか 活用事例を提供します。

### 【活用事例】

### 【提供病院】

- ①DPC統計資料の作成ツール . . . . . 新日鐵八幡記念病院
- ②医師・管理者・医学学会への対応事例 . . . . . 横浜栄共済病院
- ③医療の質評価への取り組み ～指標を活用した医療の質向上へのDPC分析～  
. . . . . 聖フランシスコ病院
- ④症例分析発表資料（北海道地区勉強会より） . . . . . 市立札幌病院

初心者向け

### セミナー受講料

15,000円/1名

(消費税込・振込み手数料貴院負担)

- 今回対象は、分析初心者です。
- 病院関係者に限定です。
- ノートパソコンは各自ご用意下さい。

\*ご持参いただくPCには、Internet Explorer ver.7以上もしくは、Firefoxが必要です。

\*分析の流れを持ち帰るためには、画面データなどを貼り付ける事ができるPPTかWordなどが必要です。

### ■日時・会場:

各地方にて開催を予定しております。\*開催いただける病院様を募集中です。詳しくは、MDV社ホームページのセミナー開催予定をご覧ください。

### ■申込:

MDV社ホームページのセミナー開催予定からお申し込みください。

◎お申込をいただきましたら、請求書(郵送)、(以下メールにて)データ保護の覚書、受講者票と会場地図を送ります。

◎理由の如何にかかわらず、ご入金後の返金は一切いたしません。代理者受講にてお願いします。

□お問い合わせ先・お申し込み先:メディカル・データ・ビジョン株式会社

担当:えむでぶ倶楽部事務局 渡辺

□住所:東京都千代田区神田美土代町7住友不動産神田ビル10階

Tel.03-5283-6911

□MDVホームページ:<http://www.mdv.co.jp/>

□問合せ用メール:emudebu-club@mdv.co.jp

